

VIII 道路、交通及び通信

幹線道路網

本市の西側を縦断している国道58号は、沖縄の主要幹線道路で那覇市から沖縄本島を西海岸に沿って北は国頭村の奥部落まで延びている。本市の東側を通っている県道 241号線は、那覇市首里から西原入り口まで延び、そのまま国道 330号と連結している。また、本市の中央を縦断する国道330号は、国道58号、県道241号線等の交通渋滞を緩和するために造られたバイパスである。その他に仲間、安波茶を軸として県道153号線が那覇市首里～牧港を結び、本市を横断している県道38号線は屋富祖と前田を結び、国道58号と県道241号線に連結している。

また、国道58号と国道330号の間を通っている県道251号線（旧パイプライン線）は、内間から伊祖、牧港及び宜野湾市を結ぶ幹線となっている。

道路概況

平成23年3月31日現在の道路数は、国道が2、県道が4、市道が576の計582となっている。

また、道路総延長は約185キロメートルで、その総面積が約208.6万平方メートルである。

延長舗装率は99.3%となっている。

橋りょう

平成23年3月31日現在の橋りょう数は、国道10、県道11、市道30の計51橋で、その総延長が2,097メートルとなっている。この内訳は、国道669メートル、県道834メートル、市道594メートルである。

(122) 道路及び橋りょう現況（各年共3月末現在）

区 分	平成 21 年				総 数
	総 数	国 道	県 道	市 道	
路 線 数	r578	2	4	r572	r582
総 面 積 (m ²)	r2,074,719	486,763	342,548	r1,245,408	r2,086,711
総 延 長 (m)	r185,856	11,986	20,958	r152,912	r186,113
砂 利 道 延 長 (m)	r797	-	-	r797	r602
セメント系舗装延長 (m)	r1,059	128	8	r923	1,124
簡易舗装延長 (m)	r43,323	-	976	r42,347	42,501
高級舗装延長 (m)	r132,598	11,858	16,258	r104,482	133,803
延長舗装率 (%)	r93.9	100.0	82.3	99.5	r93.9
総 数	r51	10	11	r30	r51
橋りょう数	r51	10	11	r30	r51
延長 (m)	r2,097	669	834	r594	r2,097
永 久 橋	r51	10	11	r30	r51
延長 (m)	r2,097	669	834	r594	r2,097
木 橋	-	-	-	-	-
延長 (m)	-	-	-	-	-
ず い 道	2	2	-	-	2
(トンネル)	228	228	-	-	228

(注) ずい道は西原トンネル、伊祖トンネルを計上した。

(123) 交通安全施設の設置状況 (各年共3月末現在)

(単位：基、ヶ所)

年 度	道路反射鏡 市道 (基)	信号機 (基)	横断歩道橋 (ヶ所)
平成19年度	854	111	15
20	868	115	16
21	874	116	14
22	888	117	14
23	r888	117	14
24	888	163	15

資料：沖縄県警察本部「交通白書」
 南部国道事務所
 中部土木事務所・道路課

(単位：m²、m、%)

平成 22 年			平成 23 年			
国 道	県 道	市 道	総 数	国 道	県 道	市 道
2	4	r576	582	2	4	576
r486,763	344,502	r1,255,446	2,086,391	486,763	344,198	1,255,430
11,986	20,712	r153,415	185,302	11,986	19,901	153,415
-	-	r602	602	-	-	602
128	0	996	1,124	128	0	996
-	321	42,180	42,474	-	294	42,180
11,858	16,672	105,273	133,740	11,858	16,609	105,273
100.0	82.0	99.6	99.3	100.0	98.2	99.6
10	11	r30	51	10	11	30
669	834	r594	2,097	669	834	594
10	11	r30	51	10	11	30
669	834	r594	2,097	669	834	594
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	2	2	-	-
228	-	-	228	228	-	-

(注) 市道の延長舗装率は、セメント系・簡易・高級舗装延長を
 実延長距離で除して得た数値である。

資料：南部国道事務所
 中部土木事務所
 道路課

道路、交通及び通信

バス

鉄軌道のない本県における公共輸送機関は、バス・タクシーであり、その中でもバスは県民生活に欠くことのできない輸送機関で、県民の足として重要な役割を果たしている。

(124) バスの運行状況 (各年共4月1日現在)

(単位：回)

年次	路線数	停留所数	1日運行回数				
			総数	琉球バス交通	沖縄バス	東陽バス	那覇バス
平成20年	42	83	r924.5	r505.5	239.0	104.0	76.0
21	43	82	872.5	471.0	221.5	104.0	76.0
22	42	82	841.5	446.0	217.5	99.0	79.0
23	42	82	850.6	457.0	215.6	99.0	79.0
24	41	84	880.5	495.0	215.5	91.0	79.0

資料：琉球バス交通・沖縄バス・東陽バス・那覇バス

(125) バス路線別、運行間隔及び1日運行回数 (平成24年4月1日現在)

(単位：分、回)

路線名	会社名	市内經由点	始点 ←→ 終点	運行間隔 (分)	一日運行回数
屋慶名線	琉球バス交通	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 屋慶名	20~40	16
長田具志川線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 具志川	30~60	32
新都心具志川線	〃	沢岬 ~ 浅野浦	那覇 ~ 具志川	20~50	29
謝苺線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 具志川	20~40	17
読谷線 (喜名)	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 読谷	-	6
読谷線 (コンベンション)	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 読谷	-	6
読谷線 (楚辺)	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 読谷	10~20	48
名護西線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 名護	-	6
具志川線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 具志川	10~20	79
知花線	〃	沢岬 ~ 浅野浦	那覇 ~ 具志川	15~30	56
琉大線	〃	沢岬 ~ 浅野浦	道の駅豊崎 ~ 琉大北口	20~40	40
浦添線 (浦添西原折返)	〃	内間 ~ JA西原前	道の駅豊崎 ~ JA西原前	20~40	26
浦添線 (真栄原折返)	〃	内間 ~ 広栄	道の駅豊崎 ~ 真栄原	-	10
牧港線	〃	内間 ~ 牧港	道の駅豊崎 ~ 宜野湾	30~50	30
国体道路線	〃	沢岬 ~ 牧港	那覇 ~ 具志川	-	14
名護西空港線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇空港 ~ 名護	15~30	26
宜野湾線	〃	沢岬 ~ 浅野浦	道の駅豊崎 ~ 宜野湾	-	3
宜野湾空港線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇空港 ~ 宜野湾	-	3
天久新都心線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇空港 ~ 宜野湾	20~40	25
具志川おもろまち線	〃	勢理客 ~ 牧港	おもろまち ~ 具志川	-	8
読谷おもろまち線	〃	勢理客 ~ 牧港	おもろまち ~ 読谷	-	12
謝苺おもろまち線	〃	勢理客 ~ 牧港	おもろまち ~ 具志川	-	3
屋慶名線	沖縄バス	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 屋慶名	20~60	31.5
屋慶名おもろまち線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 屋慶名	-	6
読谷線 (楚辺)	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 読谷	10~15	24
読谷線 (コンベンション)	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 読谷	-	3
読谷線 (喜名)	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 読谷	-	3
読谷おもろまち線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 読谷	-	6
名護東線 (辺野古)	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 名護	30	22
名護西線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 名護	15~20	3
与勝線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 屋慶名	20~40	22
名護西空港線	〃	勢理客 ~ 牧港	空港 ~ 名護	-	13
与那城線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 屋慶名	-	8
コンベンションセンター線	〃	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 真志喜	10~55	36
てだこ線	〃	勢理客 ~ 経塚	那覇 ~ 経塚	-	38
泡瀬西線	東陽バス	勢理客 ~ 牧港	那覇 ~ 泡瀬営業所	10~30	54
城間線 (南風原)	〃	第一経塚 ~ 屋富祖	馬天 ~ 屋富祖	-	10
城間線 (一日橋)	〃	第一経塚 ~ 屋富祖	馬天 ~ 屋富祖	30~60	27
普天間空港線	那覇バス	広栄団地入口 ~ 幸地入口	空港 ~ 普天間	10~60	30
琉大線	〃	幸地入口 ~ 西原入口	那覇BT ~ 琉大北口	15~30	40
糸満西原線	〃	幸地入口 ~ 西原入口	糸満 ~ 西原	10~60	9

(注) 沖縄バスの「てだこおもろまち線」は廃止。

資料：琉球バス交通、沖縄バス、東陽バス、那覇バス

自動車

本県では、自動車が唯一の陸上交通手段であり、近年における生活水準の向上や生活圏の拡大、モーターレーゼーションの進展等によって年々増加してきたが、平成13年度以降、登録自動車総数は減少傾向にある。

(126) 登録自動車台数 (各年度共3月末現在)

(単位：台)

区分 年度	業態	登録 自動車 総数	貨物用			乗合用		乗用		特種(殊)用途用	
			普通車	小型車	被けん 引車	普通車	小型車	普通車	小型車	特種 用途車	大型 特殊車
平成19年度	自家用	36,611	2,113	4,390	9	22	79	8,588	19,941	1,360	109
	事業用	2,090	748	78	438	3	3	20	597	203	0
	合計	38,701	2,861	4,468	447	25	82	8,608	20,538	1,563	109
20	自家用	35,405	1,984	4,080	5	23	73	8,330	19,505	1,294	111
	事業用	2,079	721	76	458	4	3	19	586	212	0
	合計	37,484	2,705	4,156	463	27	76	8,349	20,091	1,506	111
21	自家用	34,524	1,982	3,959	5	23	79	8,100	18,982	1,281	113
	事業用	2,197	733	80	571	3	4	17	551	238	0
	合計	36,721	2,715	4,039	576	26	83	8,117	19,533	1,519	113
22	自家用	34,236	1,960	3,855	8	23	78	8,208	18,737	1,257	110
	事業用	2,192	692	69	625	3	3	18	533	249	-
	合計	36,428	2,652	3,924	633	26	81	8,226	19,270	1,506	110
23	自家用	34,114	1,917	3,734	3	24	80	8,302	18,673	1,274	107
	事業用	2,153	676	76	603	4	3	20	504	267	-
	合計	36,267	2,593	3,810	606	28	83	8,322	19,177	1,541	107

資料：沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況」

(127) 届出自動車保有台数 (各年度共3月末現在)

(単位：台)

区分 年度	総数	小型 二輪車 251cc 以上	軽自動車 (660cc以下)			小型特殊車 (農耕用・ その他のもの)	原動機付自転車		
			二輪車 250cc以下	貨物車	乗用車		50cc 以下	90cc 以下	125cc 以下
平成19年度	50,722	1,182	2,833	9,172	26,340	19	8,333	1,077	1,766
20	52,296	1,277	3,007	9,096	27,529	20	8,333	1,021	2,013
21	53,635	1,306	3,134	8,992	28,461	23	8,418	972	2,329
22	54,939	1,312	3,153	8,924	29,646	22	8,442	890	2,550
23	56,385	1,331	3,259	9,191	30,741	24	8,240	797	2,802

(注) 50cc以下には、ミニカーを含む。

原動機付自転車には、軍人軍属の所有台数を含まない。

資料：沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況」

市民税課

電 話

電話は遠・近距離へ手軽に利用できる伝達・通信手段として普及してきたが、近年、情報処理・情報通信技術の急激な発展により、携帯電話やインターネットサービスなどによる通信が急速に普及するとともに、通信媒体も多様化している。

こうした中で、従来の住宅用及び事務用の加入電話、公衆電話は減少傾向にある。（※平成21年度の県内の携帯電話契約数は1,079,510件、ISDN42,067件で、加入電話数329,346件を大幅に上回っている。資料：平成23年版沖縄県統計年鑑）

(128) 電話施設の概況（各年度共3月末現在）

(単位：戸、回線数)

年 度	世 帯 数 (A)	総 数 (B)	加 入 電 話			公 衆 電 話	普 及 率 B — ×100 A
			総 数	住 宅 用	事 務 用	街 頭 公 衆	
平成17年度	40,384	33,552	33,299	25,529	7,770	253	83.1
18	41,146	31,103	30,861	23,693	7,168	242	75.6
19	41,960	27,995	27,766	21,142	6,624	229	66.7
20	42,695	25,588	25,362	19,349	6,013	226	59.9
21	43,388	22,820	22,606	17,116	5,490	214	52.6
22	43,957	20,533	20,323	15,178	5,145	210	46.7
23	44,915	18,431	18,235	13,470	4,765	196	41.0

資料：NTT西日本 沖縄支店

(129) 郵便物数の推移（各年度共3月末現在）

年 度	引 受 郵 便 物						
	総 数	通 常 郵 便 物 (通)				小 包 郵 便 物	
		一日平均	計	普 通	書 留	計	普 通
平成18年度	10,641,017	29,153	10,427,209	10,250,762	176,447	213,808	213,344
19	-	-	-	-	-	-	-
20	-	-	-	-	-	-	-
21	-	-	-	-	-	-	-
22	-	-	-	-	-	-	-
23	-	-	-	-	-	-	-

(注) 引受郵便物は浦添市内の郵便局窓口で引き受けられたものである。

※15年度は配達郵便物の通常普通郵便がデータ不足のため集計がとれない。

※数値には年賀、選挙、国際を含まない。

※民営・分社化以降は市町村ごとの物数の公表は行っていない。

郵便

本市には、平成24年3月31日現在で12局の郵便局がある。その内訳は、普通局1、無特局11、また1局当りの利用人口は、0.9万人、人口1万人当りの切手・印紙類販売所は8.4ヶ所、同ポスト数は9.1箱となっている。

(130) 市別郵便利用普及状況（平成24年3月末現在）

市別	人口 (万人)	窓口機関					郵便切手類 販売所		郵便ポスト	
		総 数	郵便 局	分 室	簡 易 局	利一 用局 当り 人口 (万人)	所 数	人口 一 万人 当 り 所 数	箱 数	人口 一 万人 当 り 箱 数
沖繩県	142	202	180	2	20	0.7	1,527	10.8	1,565	11.0
那覇市	32	41	40	1	-	0.8	340	10.6	349	10.9
うるま市	12	16	11	-	5	0.8	82	6.8	102	8.5
宜野湾市	9	10	10	-	-	0.9	66	7.3	70	7.8
宮古島市	5	13	10	-	3	0.4	108	21.6	70	14.0
石垣市	5	8	8	-	-	0.6	96	19.2	76	15.2
浦添市	11	12	12	-	-	0.9	92	8.4	100	9.1
名護市	6	10	9	-	1	0.6	85	14.2	95	15.8
糸満市	6	9	8	-	1	0.7	50	8.3	49	8.2
沖繩市	14	13	13	-	-	1.1	103	7.4	99	7.1
豊見城市	6	4	4	-	-	1.5	36	6.0	40	6.7
南城市	4	9	4	-	5	0.4	39	9.8	49	12.3

(注) 人口は、沖繩県市町村課の住民基本台帳人口による。(千の位を四捨五入) 資料:郵便局株式会社沖繩支社
郵便事業株式会社沖繩支社

(単位:通、個)

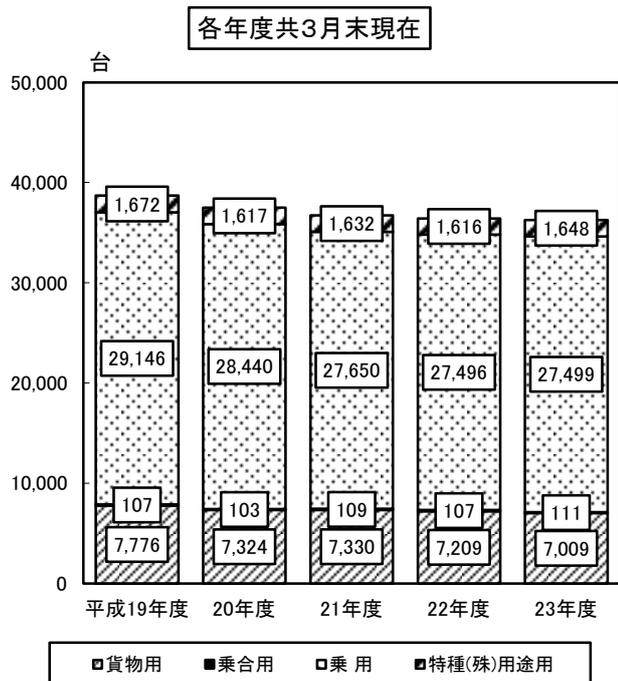
(個)	配達郵便物								
	総 数	通常郵便物(通)				小包郵便物(個)			
		一日平均	計	普通	書留	計	普通	書留	
書留	464	16,267,092	46,082	16,019,017	15,773,687	245,330	248,075	227,995	20,080
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※平成16年度以降の冊子小包は引受郵便物の小包郵便物に含まれる。資料:郵便事業株式会社沖繩支社
(配達郵便局では通常郵便物に含まれる。)

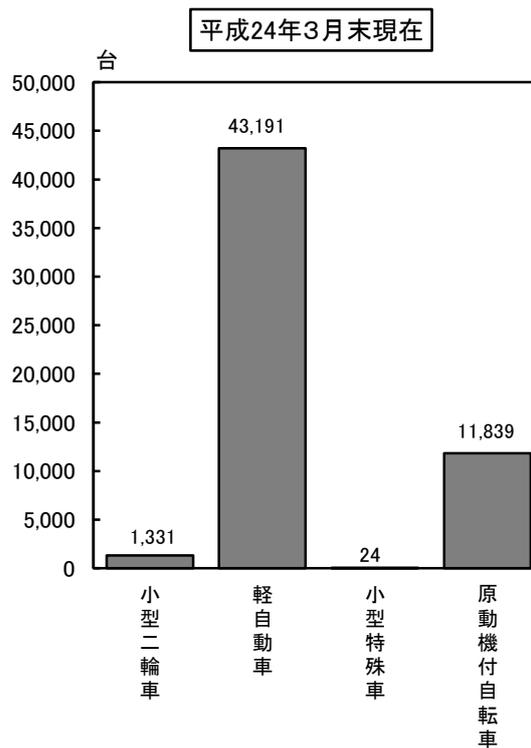
※平成18年度配達郵便物については、同年度9月の「集配拠点・郵便貯金・簡易生命保険の外務営業拠点の再編」に伴い、西原町の配達物数が含まれる。

Ⅷ 道路、交通及び通信

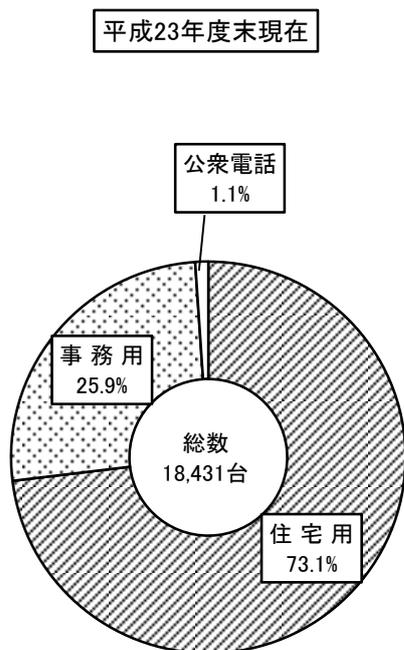
(52) 本市の登録自動車台数の推移
(P111参照)



(53) 本市の届出自動車(小型)保有台数
(P111参照)



(54) 種類別、電話の構成 (P112参照)



(55) 市別郵便機関数 (P113参照)

